

日本共産党県議団の活動

2011年4月～13年3月

日本共産党
岡山県議会議員団

福祉・防災の街づくり

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災から多くのことを学びました。直後の県議選では、「住民の生命と暮らしを守る」県政のあり方が問われました。日本共産党県議団は「福祉・防災の街づくり」として、防災対策（ハード整備）とともに、日頃から「福祉の備え」が大事であることを訴えました。次の2年につなげるべく、2年間の活動を振り返ってみました。



原発は即時ゼロへ!

岡山市議団と
中電へ申し入れ



毎週金曜日の官邸前行動に呼応し、中電岡山支社前でパレード (2012年2月)



福島県を視察 (2012年2月)

○自然エネルギーの普及促進を

中国地方における自然エネルギーのポテンシャル(環境省試算による発電可能性)は、島根原発の全発電量の11倍にもなります。岡山県は晴れの国、太陽光発電に生かされます。山間部ではバイオマスも可能です。産業おこしも視野に入れ、大いに促進を訴えています。



岩手県宮古市へ (2011年6月)



岩手県山田町の障害者作業所へ自転車プレゼント



千葉県浦安市の公園 (2011年4月)



○特別委員会の設置

県議会に「防災に関する特別委員会の設置を提案」「防災・環境対策-新エネルギー特別委員会」がつけられました。

○液状化対策

「揺れやすさ」の想定をより正確にするためには、地盤構造の見が重要だと強調してきました。現在作成中の「液状化予想図」には、ボーリング調査の結果が反映されることになりました。

○地域防災組織

単に組織率だけを把握するのではなく、機能する組織をつくるための具体的な支援を求めました。

○福祉避難所

高齢者や障害者の意見をふまえて整備するよう求めました。

○女性の視点

防災の分野にも、計画をつくる段階から女性の視点が欠かせないことを強調してきました。十二年に改定した「地域防災計画」には、避難所の開設・運営に関する留意点として、「女性の視点」に関する事項が記入されました。



宮古市の仮設住宅を訪問



宮古市の避難所を訪問



命と暮らしのために

教育・子育て



学カテテストの中止などを
(教育文化センター)



私学助成の拡充(上:私学助成をすすめる
会)、少人数学級の拡充(下:ゆきとどいた教育
を求めると、毎年、県議会へ請願。)

文化財保護



2012年末の金山寺の火災で貴重な文化財が焼
失したことをうけ、文化財の保護のため支援・連携
を強めるよう求めました。
(2013年1月 文化財防火デーを前に)

○少人数学級の拡充

2011年度から小1、12年度
から小2を対象に全学校での実
施へ前進。13年は自公政権のも
とで中断され、小3以上は大規
模校のみの実施となっています。

○カウンセラー等の充実

2013年度、カウンセラーも
ソーシャルワーカーも増員に。

○フリースクール等への支援

13年度から、教育委員会との
連携事業がはじまります。

○特別支援教育の充実

○私学助成の拡充、負担軽減

両団体の請願は、11議会恒例です。いず
れも日本共産党県議団が紹介議員に、ね
ばり強いとどろくみに私学助成はこの2年連続
拡充、35人学級の前進やPTA会費など父
母負担軽減につながっています。

○車いすで学べる高校に

大規模改修の際という方
だった高校へのエレベーター設置
について、「車いすを利用した
生徒が入学した際に」に改める
よう求めていました。
このほど対象生徒が2人いる
総社南高校にエレベーターが設
置されることになりました。



福祉・医療

○自立支援法を廃止し、

ニーズに応じた制度に

障害者福祉サービスも有料になり、障害
者を苦しめています。報酬は月単位から時
間計算になり、事業所運営は危機に瀕して
います。制度の抜本改善を求めています。

○医療費補助制度

県独自の医療費補助制度も有料制度に
改悪。元の無料にもどし、「命を守れ」と訴
えています。

○子ども医療費は中卒まで無料に

○高齢者の年金充実、各種負担軽減を

○安価で入れる高齢者住宅を

○国民健康保険料軽減へ県も支援を



県の医療費補助制度の改善を
(障害者の生活と権利を守る連絡会)



看護師を増やし安心・安全の看護を
(医療労働組合)

自民・民主・公明の「3党合意」は、消費税
率を10%まで引き上げ、社会保障は大改悪
する内容でした。「どもに支えあう制度に」な
どと言いつつ、負担を国民だけに押し付け
るといふのは憲法25条違反です。国はもちろ
ん、大企業も社会的責任を果たすべきです。



子ども医療費無料化年齢の拡大を
(子ども医療費無料化を求める会)



みずしま財団へ委託し作成した
「温室効果ガス削減への提言」

地球温暖化防止

○産業分野での削減が課題

岡山県の温室効果ガスの排出を部門
別にみると、産業分野での排出が全体
の約8割を占めています。企業ごとの排
出量を公表し、とどろくみを促すことを提
案。2010年から「温室効果ガス排出量
算定・報告・公表制度」が始まりました。

○データを分析し提言

公表されたデータの分析を専門家に
委託し、排出量削減に向けた各種とどろ
くみを提言してきました。

— J X 事故 —



仁比そうへい前参院議員と
現地調査 (2012年3月)



2011年8月に水島コンテナの事故、12年2月に海底トンネル工事の事故、6月に高圧ガスタンクの偽装報告、JX日鉱日石エネルギー水島製油所の事故、事件が続きました。その都度、現地を調査し、事業者はもちろん、国や県にも充分な対策を求めました。

— 米軍機低空飛行 —



赤嶺政賢衆院議員と現地調査
(2011年10月)



飛行ルート(目撃情報)を地図に示して質問

2011年3月、津山市上空を米軍機二機が超低空で飛行。「保育園児が泣きわめくほどの騒音を轟かせ、民家の土蔵を倒壊させました。」



米軍機の低空飛行中止を求め、防衛省と外務省へ (2012年5月)

○水島コンテナの防災対策

大規模災害への対応と老朽化対策が同時に求められるコンテナ。一度でも事故が起これば、取り返しのつかないことになり。住民の安全のためにも、「万全な対策を」と、繰り返し求めていきます。

○安全をゆるがす「規制緩和」の見直しを

水島コンテナの国際競争力強化のためだと、様々な規制緩和がすすめられています。「安全軽視は許さない」立場で見直しを求めています。

— 雇用 —



ヤングハローワークの視察

○正規雇用の拡大を

派遣切り、ワーキングプア「首切り自由」の法制度をあらためさせ、「安心して働ける会社を」と訴えています。

○賃金引き上げを



被害者の損害賠償を請求に立会い (2012年5月)

○福島原発被災者の内部被ばく検査

福島第一原発の事故により、東北・関東地域から避難している人が800人にのぼり、岡山県内でも内部被ばくの検査ができるよう求められました。2013年度から、国立医療機構・岡山医療センター(岡山市北区)で検査できることになりました。

○自主避難者へも支援を

原発被災者支援法の対象は福島県の指定地域に住んでいた人のみに限られており、「自主避難者にも支援を」と訴えてきました。知事はこのほど「どのような支援が良いのかも含めて検討する」ことを表明しました。



○重症小児医療の充実を

重い病気や障害をもつ子どもへの医療支援の充実を求めています。2013年度から「小児・障害児在宅医療連携拠点事業」として、地域の小児科や福祉関係機関との調整など相談支援体制を整備すること、親子で宿泊しての療養指導や家族の負担を軽減する「療養・医療センター」を整備することを決めました。

— TPP —



TPP交渉参加反対を訴える宣伝 (2012年2月)

TPP対策のためには、国民所得の引き上げを！

消費税の増税、社会保障の大改悪に断固反対！

TPP(環太平洋連携協定)への参加に断固反対！

TPPへの参加は、農業はもちろん食の安全、医療、保険、雇用、官公需公共事業や物品購入など暮らしと経済のあらゆる分野に大きな影響を及ぼします。2011年に参加9ヶ国が発表したTPPの輪郭(アウトライン)には「関税ならびに物品・サービスの貿易および投資に対するその他の障壁を撤廃すること」明記されています。果議会で、農業、医療、官公需などの影響を追求してきました。知事も「国で充分議論し、情報を明らかにすることが必要。慎重な対応を」などと述べています。

命と暮らし、憲法と平和を守る政治へ いっしょにがんばっています



党岡山県女性部長
かきうち 京美



前参院議員・弁護士
仁比 そうへい



党岡山県常任委員
石村 とも子



議会改革の促進を (2011年6月)

議会改革の促進を

○ 政務調査費の全領収書公表を

年間450万円もの税金が「自由」に使えるというのは許されません。行政の税金の使い方をチェックする議員だからこそ、自らの税金の使い方にも当然厳しさが求められます。日本共産党岡山県団は独自に全領収書を公表するとともに、条例改正を求めてきました。これには自民党だけが反対しています。

○ 費用弁償(交通費)の廃止を

ガソリン代は政務調査費でも支出でき、報酬にも含まれています。日本共産党岡山県団は、制度の廃止を求め、支給される「お金」は一旦供

【県などへ提出した主な要望書】

- 2011年**
- 6月20日 自然エネルギーの本格的導入
 - 6月28日 議会改革の推進 (県議会へ)
 - 7月11日 大阪ガスパイプライン工事の耐震対策 (大阪ガス、国道事務所へ)
 - 7月11日 高齢者や低所得者の熱中症対策
 - 7月13日 原発からの撤退 (中国電力へ)
 - 7月25日 JX日鉱日石エネルギー(株)水島製油所での火災事故の調査 (JX社へ)
 - 7月27日 津山市での低空飛行による土蔵倒壊の補償 (中国四国防衛局へ)
 - 8月11日 津山市が、学校・保育園・幼稚園での低空飛行影響調査の結果を発表したことを受け、改めて低空飛行中止

- 10月 3日 倉敷市・岡山市上空での米軍機飛行(9/26)情報をもとに、改めて米軍機の低空飛行中止
- 11月28日 2012年度予算編成に向けた要望
- 2012年**
- 1月27日 島根原発の定期点検入りにあたり、原発からの撤退、自然エネルギーの促進 (県、中国電力へ)
- 2月 9日 消費税増税反対、社会保障の充実
- 3月 5日 JX日鉱日石エネルギー(株)水島製油所での海底トンネル事故の調査 (JX社へ)
- 5月14日 地球温暖化防止対策
- 5月16日 政務調査費・旅費等に係る提案 (県議会へ)

- 6月28日 MV22オスプレイ配備の中止
- 7月20日 JX日鉱日石エネルギー(株)水島製油所の偽装報告問題の調査 (JX社へ)
- 7月28日 JX日鉱日石エネルギー(株)水島製油所の偽装報告問題の抜本対策 (産業保安監督部へ)
- 9月24日 尖閣諸島問題
- 10月 3日 「即時原発ゼロ」の実現
- 11月28日 2013年度予算編成に向けた要望
- 2013年**
- 1月22日 「文化財防火デー」を前に、防火・防犯対策の強化 (県教育委員会へ)
- 2月 8日 倉敷駅付近連続立体交差事業の中止
- 3月12日 「いじめ」のない学校と社会を賃上げと安定した雇用の拡大を

託し、引退後に返還(寄付)することを決め、2011年4月に引退した武田前県議は、供託していた約250万円を県に返還しました。

○ 報酬の削減を

○ 議員定数削減には反対

議員は、住民の様々な声を議会を通じて県政に生かす役割を担っています。定数削減はこの住民とのパイプを削ることになります。どの地域でも住民の多様な意思が反映されるよう「定数1」の選挙区をなくすこと、一票の平等が保障される制度にすることが必要だと考えています。

森脇ひさき



- 岡山県議会議員 3期目
(岡山市北区・加賀郡)
- ・文教委員
 - ・防災・環境対策・新エネルギー特別委員
 - ・議会運営委員(オブザーバー)
 - ・日本共産党岡山県副委員長
 - ・日本共産党岡山県議会議員団团长

氏平みほ子



- 岡山県議会議員 1期目
(岡山市中区)
- ・環境文化・保健福祉委員
 - ・決算特別委員
 - ・日本共産党岡山県常任委員
 - ・日本共産党岡山地区委員
 - ・日本共産党岡山県議会議員団幹事長

日本共産党岡山県議会議員団

2013年 4月
岡山市北区内山下2-4-6
岡山県議会内
TEL (086)226-7412
FAX (086)231-2187